

千葉県市川市の総合事業について（柏井線実証運行）

計画事業

現況及び課題

- 鉄道の整備状況は、7路線16駅が市内に設置されている。
- 鉄道駅を中心としてバス路線網が、整備されているが、都市基盤施設の根幹となる幹線道路整備が追いつかずまた面的な都市整備も遅れたため急速な市街化が進んだ地域において交通不便地が点在している。
- 全国的なバス離れが進む中でバスの運行便数の減少は進んでいるものの、高齢化の進展や自動車保有台数の減少もあり平成15年を下限としてバスの利用者数は、横ばいからやや増加傾向にある。

活性化の目標・方向性

- 市民が健康で、良好な環境の基に生活を営むことを可能にする交通体系の確立を目標としている。
- 収益の悪化した路線バスの再編にあたり、住民ニーズに適合した運行計画への変更や地域住民の協力により利用を促進し運行継続を可能とする実証実験を実施する。

実施する事業の内容

- 柏井線の実証実験運行（平成21年4月1日～平成23年3月31日）
 - ◆ ルート 西船橋駅（朝夕のみ）－下総中山駅－北方－若宮小学校－北方町4丁目－船橋法典駅
－柏井－市営霊園－保健医療福祉センター（開所時間のみ）
 - ◆ 本数 1日40往復（土日31往復）
 - ◆ 運賃 160円～370円（対距離運賃）
- 利用促進方策（平成21年度～平成22年度）
 - ◆ 自治会を通じた乗車運動の実施
 - ◆ バスカードの一括購入
 - ◆ 新聞折込による周知活動の実施

